

平成20年度 建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成20年度建設局予算要求総括表・・・・・・・・1
- 2 平成20年度建設局経営方針・・・・・・・・2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・3
（ハートフル北九州構築関係）
- 4 事務事業の見直し等・・・・・・・・10

1 平成20年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成20年度要求総額 49,480,152 千円
(平成19年度当初予算額 53,763,487 千円)
前年度比 ▲ 8.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 当初予算額 B	増減 A-B
道路・街路事業	35,276,779	38,400,134	▲3,123,355
公園事業	5,576,107	6,329,423	▲753,316
河川事業	3,308,379	3,545,781	▲237,402

【下水道事業会計】

平成20年度要求総額 55,741,490 千円
(平成19年度当初予算額 57,439,020 千円)
前年度比 ▲ 3.0%

平成20年度単年度資金剰余 ▲1,094,962 千円

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 当初予算額 B	増減 A-B
浸水対策事業	2,189,000	2,530,000	▲341,000
地震対策事業	880,000	0	880,000
合流改善事業	5,451,000	5,260,000	191,000

2 平成20年度建設局経営方針

「人にやさしく、元気なまち」の実現に向け、経済活動の活性化や、産業の振興といったまちの活力の向上とともに、安全・安心かつより快適なまちづくりの推進を図るために、以下の方針のもとに必要な都市基盤の整備・保全を実施します。

また、現在の厳しい財政状況に対応するため、「選択と集中」による効率的な事業の推進に努めていきます。

- (1) 産業の振興や企業誘致を促進する物流ネットワークの形成
- (2) 高質な都市空間とまちの賑わいづくり
- (3) 安全安心なまちづくりの推進
- (4) 環境首都の推進
- (5) 公共施設の効率的な維持管理の推進

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(ハートフル北九州構築関係)

(1) 産業の振興や企業誘致を促進する物流ネットワークの形成

市内の産業を振興するとともに、新たな企業を誘致するためには、物流車両が時間通り移動できることや企業に勤める従業員等が円滑に通勤できることが必要です。このため、市内の重要な物流ネットワークを重点的かつ速やかに整備します。

✧ 主要幹線道路の整備

14,504,833 千円

新若戸道路、国道3号黒崎バイパス、
国道211号、砂津長浜線、尾倉ランプ(戸畑大谷線)、
都市計画道路9号線(熊谷~高野)など



~ 新若戸道路 ~

(2) 高質な都市空間とまちの賑わいづくり

小倉都心部、黒崎副都心部および折尾地区のまちなかにおいて、道路・公園・河川の整備による高質な都市空間の形成や、それらを活かしたまちの賑わいづくりの支援をおこないます。

☀ 勝山公園の整備の推進 (H21完成)

191,100 千円



～ 勝山公園 ～

☀ 中心市街地の道路整備の推進

6,682,000 千円



～ 折尾駅周辺連続立体交差事業～

小倉都心部	大門木町線、紫川東線、 城内大手町線	など
黒崎副都心	黒崎駅前線	など
折尾地区	折尾駅周辺 連続立体交差事業	など

☀ 小倉都心の賑わいづくり

34,000 千円

紫川周辺でのイベント開催
(「百万人のカヌー体験」など)

勝山公園でのイベント開催
(土木フェアなど)



～ 百万人のカヌー体験 ～

☀ 日本風景街道 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”

6,000 千円

長崎街道等(門司港～木屋瀬間)において、沿線で活動する団体等と行政が協働し、まちのにぎわいづくりやビジャーズ・インダストリーを推進します。

(3) 安全安心なまちづくりの推進

道路や公園のバリアフリー化や、災害に強いまちを目指した河川や下水道施設の整備などに加え、子育てにも配慮した安全・安心なまちづくりを推進します。

☀ 浸水対策事業の推進

4,957,963 千円



～ 浸水被害の状況 ～

浸水被害のない安全・安心なまちづくりを目指し、大きな被害が予想される河川を重点的に、川幅を広げるなどの河川改修を推進します。

また、浸水被害の解消に向けて、近年の局地的豪雨により、浸水被害が発生した地区の雨水管や側溝の整備を行います。

河川改修 紫川、江川、板櫃川、金山川、撥川、相割川

雨水整備 大里戸の上・柳町地区、徳吉・長行地区など

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

570,000 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路上の橋梁を中心とした耐震補強や法面の補強等を実施します。

☀ (新) 下水道の地震対策の推進

880,000 千円

重要な下水道施設の耐震化や被災した場合の被害を最小限に抑えるための対策（主要幹線の2条化、浄化センター間のバイパス管設置等）を行います。

☀ バリアフリーのまちづくりの推進

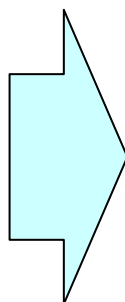
1,682,980 千円

すべての人々が安全で安心して快適にらせるまちづくりを推進するために、歩道等の整備や公園のバリアフリー化（入口整備、手すり設置など）を推進します。

☀ 市民との協働によるあんしん道事業

100,000 千円

地域・学校・行政が協働で通学路の安全点検を行い、カラー舗装など必要な対策を実施します。



～ カラー舗装の例 ～

☀ 生活道路等緊急整備事業

1,000,000 千円

市民の皆様からの要望を受け、身近な生活道路や公園等の補修や修繕などを行い、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

☀ ハートフル公園計画の推進

30,000 千円

まちづくり協議会を中心に、計画段階から地域の声を幅広く聞き、地域のニーズを踏まえた機能を持たせることで、これまで以上に公園が利用されるように「ハートフル公園計画」を推進します。

基本計画策定（素案） 130 校区
モデル2地区 ワークショップ、実施設計

☀ 子育てに配慮した公園整備

10,000 千円

公園に「乳幼児コーナー」を設置し、乳幼児も安心して遊べる公園を整備します。

18年度 9公園 20年度 13公園（2公園/年）

☀ 明るく安全なまちづくりの推進

29,000 千円

夜間の通行安全性の向上を目的に、市民からの要望に対し、要件に合致するものについて、街路灯（100W）・生活街路灯（40W）の整備を行います。

（4）環境首都の推進

「世界の環境首都」の実現のため、下水道施設の整備、環境学習、花のまちづくりなどを推進します。



～ 板櫃川“水辺の楽校” ～

☀ 環境学習の推進

11,302 千円

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携による環境学習や紫川水先案内人育成事業などを推進します。

☀ 花と緑のまちづくり

161,100 千円

都市に潤いをもたらす快適な都市景観を創造するため、花のまちづくりや街路樹の整備などを進めます。

☀ 合流式下水道の改善

5,451,000 千円



合流式下水道の仕組み上、大雨が降ると未処理下水の一部が、海や川に流れ出してしまうため、雨水を貯留する施設（雨水滞水池）の設置や分流式下水道への改善を行い、水質保全に取り組みます。

～ 未処理下水が流れ出る合流吐き口～

(5) 公共施設の効率的な維持管理の推進

都市基盤であり、市民共有の財産である公共施設を次世代に確実に引き継いでいくため、適切かつ効率的な維持管理を推進していきます。

☀ 橋梁の長寿命化への計画的な取り組み

49,000 千円

橋梁の維持管理において、「計画的に手を入れて長持ちさせる」予防保全型の考えを導入し、長寿命化（ 1 ）及びライフサイクルコスト（ 2 ）の最小化に努めます。

現在実施している定期的な点検を基に、効率的な維持管理を行うための「橋梁長寿命化修繕計画」を、平成 21 年度（目標）に策定します。

- (1) 状態を点検・評価し、予防的修繕をすることにより耐用年数を延命させること
- (2) 新設から維持管理までに要する生涯費用

☀ 道路サポーター事業

15,000 千円



～ 道路サポーター事業 ～

歩道の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。

☀ 河川愛護団体補助事業

354 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、市民と協働による河川環境の保全に努めます。

☀ 公園愛護会補助事業

6,707 千円

市民に身近な公園で愛護会の結成を促進し、除草・清掃等の日常的な維持管理および花壇作りなどを行います。



～ 公園愛護会活動状況 ～

4 事務事業の見直し等

(1) 公園・街路除草の見直し

公園や街路植栽部で行っている除草業務において、植林地や法面などの利用に支障の少ない箇所では、除草期間を延ばすなど業務内容の見直しを行い、利用状況に合わせたメリハリのある除草を計画的に行ないます。

(2) 河川や水路の補修の見直し

河川や水路の補修では、危険性や緊急性などを総合的に判断し、重要度の高いところから順次補修を行っていきます。その際、状況に合わせて、より適切な補修方法を選定することで見直しを図ります。

(3) 道路照明灯設置工法の見直し

道路照明灯の建て替えや移設時は、近くに設置可能な電柱が有る場合、新たに柱を建てずに、この電柱に設置して、工事費用を縮減します。

(4) 道路・公園照明灯の見直し

市内の道路や公園の照明灯で使用している約 4,260 灯の水銀灯を、ワット数は小さいが同等の明るさを持つナトリウム灯に交換することにより、電気料金の縮減を行います。



(5) 合流式ポンプ場の遠隔集中監視化による委託費の削減

合流式ポンプ場を浄化センターから遠隔集中操作できるように機器の整備を行い、委託費を削減します。

(6) ICP分析装置の活用等による委託費の削減

ICP分析装置（排水中の重金属を測定する機械）の導入等により、検査時間の短縮を図ることで、民間委託している検査業務を削減します。

(7) 排水設備完了検査事務等の全面委託化

住宅等の水洗化工事にあたって必要な、下水道接続に係る申請や接続後の確認検査等の事務を全面委託化することで、職員給与費を削減します。